



2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年11月9日

上場会社名 株式会社ラウンドワン 上場取引所 東
 コード番号 4680 URL http://www.round1.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉野 公彦
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 佐々江 慎二 TEL 072-224-5115
 四半期報告書提出予定日 2018年11月12日 配当支払開始予定日 2018年12月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切り捨て)

1. 2019年3月期第2四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	48,869	5.7	4,660	9.2	4,511	10.7	3,001	22.2
2018年3月期第2四半期	46,241	8.4	4,269	58.4	4,074	97.5	2,456	153.9

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 3,951百万円 (57.5%) 2018年3月期第2四半期 2,508百万円 (764.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	31.50	—
2018年3月期第2四半期	25.79	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第2四半期	109,386	59,755	54.6	626.47
2018年3月期	106,652	56,720	53.1	595.40

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 59,679百万円 2018年3月期 56,682百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2019年3月期	—	10.00	—	—	—
2019年3月期 (予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	101,400	5.7	11,550	9.6	11,000	7.1	6,320	△24.9	66.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期2Q	95,452,914株	2018年3月期	95,452,914株
② 期末自己株式数	2019年3月期2Q	190,500株	2018年3月期	189,233株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期2Q	95,262,930株	2018年3月期2Q	95,265,529株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報)	7
3. その他	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、相次ぐ自然災害等により一時的に景況感が停滞したものの、設備投資の増加等企業活動の活発化がみられ、企業収益は引き続き堅調に推移いたしました。また、米国経済におきましては、雇用状況の改善や所得の増加を背景に堅調な景気拡大が継続しております。しかしながら保護主義的な通商政策に伴う貿易摩擦の懸念が高まる等、依然として不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループにおいては、日本国内にて「1,000円キャッシュバックイベント」、「小中学生無料キャンペーン」、「ラウンドワンDE乾杯!」の継続実施や、アミューズメントの最新機種を積極導入を行いました。

米国においては「All Inclusive Party」、「KIDS BOGO」、「\$1.99ビール・\$0.99アイスの販売を継続実施する等、将来のファン層の開拓や、幅広いファン層の獲得に努めました。

また、営業基盤を拡大すべく、当第2四半期に国内においては2018年7月に奈良ミ・ナアラ店(奈良県奈良市)、米国においては2018年8月にサウスタウンセンター店(ユタ州)、同年9月にミルクリーグ店(ペンシルベニア州)を出店いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高48,869百万円(前年同期比5.7%増)、営業利益4,660百万円(同9.2%増)、経常利益4,511百万円(同10.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益3,001百万円(同22.2%増)となりました。

また、当社が運営する屋内型複合レジャー施設は、お盆期間やお正月期間等長期休暇の多い第2四半期及び第4四半期に売上高が増加する傾向があり、四半期毎で経営成績の偏りが生じます。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しております。以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

(日本)

「1,000円キャッシュバックイベント」、「小中学生無料キャンペーン」、「ラウンドワンDE乾杯!」の継続実施に加え、アミューズメントの最新機種「Fate/Grand Order Arcade」(アーケードゲーム)、「オングキ」(音楽ゲーム)を全店舗に導入いたしました。

以上の結果、ボウリングは前年同四半期比1.4%減、アミューズメントは前年同2.0%増、カラオケは前年同0.9%増、スポッチャは前年同4.1%増となりました。

(米国)

営業基盤を拡大すべく、当第2四半期に新たに2店舗を出店いたしました。また、「All Inclusive Party」、「KIDS BOGO」や、「\$1.99ビール・\$0.99アイスの販売を引き続き実施いたしました。

以上の結果、ボウリングは前年同四半期比20.5%増、アミューズメントは前年同44.7%増、カラオケは前年同34.8%増となりました。

(2) 財政状態に関する説明

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については遡及処理後の前連結会計年度末の数値で比較を行っております。

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ2,733百万円増加の109,386百万円となりました。この要因は、現金及び預金が2,725百万円減少、貯蔵品が507百万円増加したこと等による流動資産の減少2,116百万円と、建物及び構築物(純額)が1,746百万円増加、リース資産(純額)が1,485百万円増加、建設仮勘定が1,188百万円増加、什器備品(純額)が547百万円増加したこと等による固定資産の増加4,850百万円によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ301百万円減少の49,631百万円となりました。この要因は、短期借入金が1,085百万円増加、リース債務が1,042百万円増加、1年内償還予定の社債が935百万円減少、未払消費税等が849百万円減少、未払法人税等が763百万円減少したこと等による流動負債の減少645百万円、長期借入金が373百万円減少、長期預り金が499百万円増加したこと等による固定負債の増加344百万円によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ3,035百万円増加の59,755百万円となりました。この要因は、為替換算調整勘定が950百万円増加、剰余金の配当952百万円による減少と親会社株主に帰属する四半期純利益3,001百万円の計上により利益剰余金が2,048百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は54.6%(前連結会計年度末は53.1%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年5月8日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,439	20,714
売掛金	932	671
商品	393	415
貯蔵品	1,470	1,978
その他	2,012	2,353
流動資産合計	28,249	26,132
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	74,446	76,241
減価償却累計額	△37,186	△37,234
建物及び構築物(純額)	37,260	39,006
土地	5,736	5,736
リース資産	27,221	28,108
減価償却累計額	△13,533	△12,934
リース資産(純額)	13,687	15,173
その他	20,665	25,038
減価償却累計額	△14,991	△17,084
その他(純額)	5,674	7,953
有形固定資産合計	62,358	67,871
無形固定資産		
投資その他の資産	213	429
繰延税金資産	5,843	5,282
差入保証金	9,758	9,465
その他	228	205
投資その他の資産合計	15,830	14,953
固定資産合計	78,403	83,253
資産合計	106,652	109,386

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	960	256
短期借入金	920	2,005
1年内償還予定の社債	935	—
1年内返済予定の長期借入金	4,450	3,826
リース債務	8,250	9,293
未払法人税等	1,628	864
その他	7,645	7,900
流動負債合計	24,791	24,146
固定負債		
長期借入金	7,408	7,035
役員退職慰労引当金	271	—
リース債務	7,276	7,323
資産除去債務	6,216	6,136
その他	3,967	4,990
固定負債合計	25,141	25,485
負債合計	49,932	49,631
純資産の部		
株主資本		
資本金	25,021	25,021
資本剰余金	22,638	22,638
利益剰余金	9,513	11,562
自己株式	△334	△336
株主資本合計	56,838	58,885
その他の包括利益累計額		
土地再評価差額金	△138	△138
為替換算調整勘定	△17	932
その他の包括利益累計額合計	△156	793
新株予約権	37	76
純資産合計	56,720	59,755
負債純資産合計	106,652	109,386

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
売上高	46,241	48,869
売上原価	40,846	42,737
売上総利益	5,395	6,131
販売費及び一般管理費	1,125	1,471
営業利益	4,269	4,660
営業外収益		
受取利息及び配当金	8	9
業務受託手数料	23	23
販売協力金収入	21	35
その他	45	44
営業外収益合計	98	112
営業外費用		
支払利息	265	230
その他	28	30
営業外費用合計	293	261
経常利益	4,074	4,511
特別損失		
固定資産除却損	262	244
固定資産売却損	—	75
特別損失合計	262	319
税金等調整前四半期純利益	3,811	4,192
法人税、住民税及び事業税	591	509
法人税等調整額	763	681
法人税等合計	1,355	1,190
四半期純利益	2,456	3,001
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,456	3,001

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
四半期純利益	2,456	3,001
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	52	950
その他の包括利益合計	52	950
四半期包括利益	2,508	3,951
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,508	3,951
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(役員退職慰労金制度の廃止)

当社は、2018年6月23日開催の第38期定時株主総会において、役員退職慰労金制度の廃止に伴う退職慰労金の打ち切り支給を決議いたしました。

これに伴い、「役員退職慰労引当金」を全額取り崩し、「役員退職慰労引当金」に計上しておりました276百万円を「長期未払金」として固定負債の「その他」に含めて表示しております。

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

『税効果会計に係る会計基準』の一部改正(企業会計基準28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

当社グループは、総合アミューズメント事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			四半期連結 財務諸表計上金額
	日本	米国	計	
売上高				
外部顧客への売上高	41,645	7,223	48,869	48,869
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	41,645	7,223	48,869	48,869
セグメント利益	4,054	457	4,511	4,511

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、総合アミューズメント事業の単一セグメントとしておりましたが、第1四半期連結会計期間以後、米国における出店の加速や、店舗の管理・サポート体制の強化により、事業セグメントの収益基盤が確立いたしました。これに伴い、セグメントの区分方法の見直しを行った結果、第1四半期連結会計期間より報告セグメントを、従来の単一セグメントから「日本」、「米国」に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第2四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成すると次のとおりになります。

(単位：百万円)

	報告セグメント			四半期連結 財務諸表計上金額
	日本	米国	計	
売上高				
外部顧客への売上高	41,139	5,102	46,241	46,241
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	41,139	5,102	46,241	46,241
セグメント利益	3,781	292	4,074	4,074

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

3. その他

(報告セグメントごとの売上高、利益の推移)

(単位：百万円)

	2014年3月期		2015年3月期		2016年3月期		2017年3月期		2018年3月期	
	日本	米国	日本	米国	日本	米国	日本	米国	日本	米国
売上										
外部顧客への売上高	82,998	1,273	81,925	1,979	78,348	5,168	80,525	7,250	84,331	11,579
セグメント利益又は セグメント損失(△)	7,831	△12	6,278	△127	5,159	243	5,416	441	9,335	932

(注) セグメント利益の合計は、各連結累計期間の連結損益計算書の経常利益と一致しております。